

令和6年度 福井県立若狭高等学校(定時制) 学校関係者評価書

<p>(問)</p> <p>・重点目標や具体的な取組が適切か。 ・総括評価書の「成果と課題」が適切か。 ・総括評価書の「改善策・向上策」が適切か。</p>
<p>(意見を聞いた方)</p> <p>定時制振興会 会長・副会長 定時制 育友会 役員</p>
<p>(意見欄)</p> <p>○教育課程・学習支援・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆基礎学力充実への取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・夜間から昼間制となり、学び直しが大事であるという層を感じる。評価書やHP上の学校の様子からは温かい環境の中で成長していることがうかがえる。 ・一人ひとりの個性に合った学びを確立するためタブレットの活用も進めていただきたい。 ・学力の差があると思うが、全員が自主的に取り組めるようになればよいと考える。 ◆学習に対する興味・関心・意欲を高めることについて <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会で行われている。 ・特別活動が重要な役割を担っていることがよくわかる。生徒も多くが積極的に関わっていきこうとしていて感想にもよく表れている。日々の授業と特別活動とが一体的になっていくと、より本格的な探求型のアクティブラーニングとなっていくと思われる。期待したい。
<p>○生徒支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生徒会活動の充実に関する取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会行事も充実しており、いままでリーダーの経験がなかった生徒にも活躍の場が与えられていることがわかり、成長に大いに貢献している。 ・これからも社会的なつながりを意識した活動を展開して行っていただきたい。 ◆自他を尊重する意識を高め、自分自身の生き方をみつめさせる取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・いつもアウトホームな環境作りをされているようで、生徒の反応も成長につながっていることがわかる。 ・アウトホームな落ち着いた中でこそ生徒は安心し、自分の本心や他者の気持ちに向き合えるんだなあとよくわかる実践が積み重ねられている。継続してほしい。
<p>○進路支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆進路行事を通して職業意識の啓発に努め、自らの進路について考えさせる取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンスやセミナーはとても有効であったと思う。今後とも実践的な取り組みを増やして、将来の職業選択につなげて行っていただきたい。 ・進路選択については、一択ではなく、いろいろな方向があり、変更することも大事と考えてほしい。 ◆将来に役立つ資格の取得を目標とする取組について <ul style="list-style-type: none"> ・有資格は大事だが、パソコンやタブレットの活用も高めていくといいのではないかな。デザインやEsportsの分野も今後役立っていくように思っている。 ・職業に生かせる資格であれば特に良いと思います。ペーパードライバーにならないように、スキルを身につけてこそ資格が生きることをわかってほしい。
<p>○全体(総括)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数での学校生活のため、ストレスが少ないのが大変ありがたい。様々な体験を通して社会人へのよきステップになれば良いと思う。 ・少人数での学校生活がストレスが少ないのが大変ありがたい。ここでの経験が社会人へのステップになれば良いと思う。 ・昨年NHKドラマの「宙わたる教室」を見ていて、定時制にこそ先生の役割が大きいと改めて思った。やりたいことを応援する、とことんやらせてみる、自信をつけさせるなど教育の原点を見る思いであった。「科学は人を変えられるか」がテーマでしたが、「科学」を「定時制」に置きかえれば意義は明白であろう。ぜひ存在意義を高めていただきたい。
<p>(学校関係者評価を踏まえた今後について)</p> <p>○教育課程・学習支援・研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への主体的な参加の場を設定することで学び直しを進め、生徒に寄り添った学習課題を定着させてきた。このプロセスの繰り返しによって、学校に登校する意義についての生徒の意識も高まり、新入生においてもうまく機能するようになってきている。 ・コミュニケーション力の育成のために、教科だけでなく総合的な探究の時間においてもグループ活動等を積極的・効果的に取り入れ、発表や意見交換の場の設定を検討していく必要がある。 ・情報を取捨選択し活用する力がますます重要になる中で、タブレット等の効果的な活用方法の検討を進めたい。
<p>○生徒支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動を通して自主性や責任感を育み、学校生活全体を充実させることを目標に取り組んでいる。少人数の特長を活かしながら、個々の生徒の特徴に合った支援を行うことで成長につなげていきたい。そのために教員間の情報の共有と、教員と生徒間の信頼関係の構築が重要であり、教員間でも、対生徒でも「対話」を大切にしていきたい。 ・自他を尊重する態度を高め自身の生き方を見つめさせる上では生徒に対して様々な働きかけが必要である。外部団体と連携した社会貢献活動や、外部講師招聘による体験講座など、他者と接する機会を増やしていきたい。
<p>○進路支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部と連携した進路行事は一定の成果が出ている。引き続き各生徒の実態や希望、必要性に応じ、多様な進路や実現に至る幾通りもの道筋について紹介、意識の向上をはかりたい。 ・日本語検定以外でも各資格取得について、意欲的に取り組む生徒が互いに学び合う学習環境の場を整える支援を行いたい。